

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	比嘉 李音	学年(渡航時)	3年
派遣先大学	ウェスタンシドニー大学		
国・地域	オーストラリア		
派遣期間	2024 年 07 月 ~	2024 年 11 月	

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Introduction to Interpreting	通訳: 講義 1H+チュートリアル 1H・予習復習 8H/週
Working with Cultural Differences	異文化理解: 講義オンライン+チュートリアル 1H・予習復習 8H/週
Sound of Language	音韻論: 講義 3H・予習復習 7H/週
Second Language Acquisition	第二言語習得論: 講義 1H+チュートリアル 2H・予習復習 7H/週

留学レポート(1,500 字以上)

この留学を通して最も大きく変化を感じたことは、授業に対する姿勢です。日本の学校や大学では、失敗や間違いを恐れるあまり授業中に発言を抑えることが多かったのですが、留学中に、他国の学生たちの積極的な姿勢に大きな影響を受けました。私が履修していた授業では、教授が話している最中でさえも、質問があれば挙手をして積極的な発言する学生が多く、最初は非常に驚きました。これを機に、私も授業中に発言することを意識するようになり、毎回の授業で少なくとも一度は、挙手をして授業参加するようになりました。特に、オンライン開講の授業では、対面授業に比べて顔が見えない分、心理的なハードルが低かったため、オンライン授業から授業発言を始めていきました。ほかの学生たちは間違いなどは気にせず発言していたため、私も次第に慣れていき、「間違えても全く問題ないから、とりあえず発言しよう」という考え方に変わっていきました。また、私が学びたかった(応用)言語学の分野について深く学ぶことができ、非常に満足しています。特に、言語学関連の授業内容が充実しており、受け身的に講義を受けるだけでなく、実践的な活動が多くあったため、私が目指していた知識とスキルを身につけることができました。

授業形態において、日本の大学と大きな違いがあり、ウェスタンシドニー大学では、日本でいう講義「レクチャー」に加えて、日本にはない「チュートリアル」という講義形態がありました。「チュートリアル」は、レクチャーで学んだ理論面を実践を通じて学びを深める場で、学生の積極的な授業参加が求められます。例えば、「第二言語習得論」のレクチャーでは、英第二言語習得の過程や母語による影響などの理論を学び、チュートリアルでは、英語を第二言語とする人々を対象に、各自がプロジェクトを行いました。プロジェクトでは、英語を第二言語とする話者へのインタビュー、録音、文字起こしを行いました。そして、レクチャーで学んだ仮説・理論をもとに、発話の中に見られる誤りを分析し、英語をどの程度習得しているか、日本語と英語の形態論の差異が第二言語習得にどのような影響を与えるかについて考察しました。これは、講義とチュートリアルが連動していて、講義の理論面をチュートリアルでの実践を通して理解を深めることができ、内容も自身にとって非常に興味深かったので、楽しみながら研究をすることができました。さらに、通訳の講義でも、レクチャーで通訳の歴史や通訳の種類、手順について詳しく学び、「チュートリアル」で実際に通訳を実践しました。チュートリアルは、日本語⇄英語、中国語⇄英語など、専門言語ごとにクラスが分かれており、三週に一度のペースでインクラスアセスメントがありました。このような実践的な機会が豊富である点が、留学先での学びの満足度を高める要因となりました。

勉強以外においても日本では経験できない貴重な体験がいくつかありました。一つ目は、毎週土曜日に日本語学校のボランティアへ参加したこと、二つ目は大学の日本語の授業にも 5 回ほど参加しました。日本語学校のボランティアでは、オーストラリアに住む日本人の両親を持つ子供たちが通う日本語学学校で、中学生・高校

生のクラスに授業のアシスタントとして参加しました。私は、日本で外国人に対する日本語教師を目指しているため、授業内容に関しては少し異なる点がありますが、「やさしい日本語」を使いながら生徒たちと交流する機会を得ることができました。また、大学の日本語の授業では、初級クラスと中級クラスに参加し、授業方法や日本語学習者がつまづきやすい文法ポイントを観察することができました。この経験は、将来のキャリアに非常に役立つと感じたとともに、現地での友好関係を広げる良い機会にもなりました。

また、日曜日には教会にも通いました。日本では一度も教会に行ったことはなかったのですが、異文化の一環として経験してみようと思い訪ねました。聖書を読む中で学べる点が多くあり、教会という場所について新たな発見もありました。この体験を通じて、宗教的な価値観や文化的な違いにも触れることができ、別の視点から異文化理解を深める貴重な機会となりました。

さらに、シドニーに来た当初は、一人も友人がいない状態だったので、積極的に多くの人に声をかけました。寮や大学のオリエンテーションや、大学のイベントなどは、出会った人すべてに声をかけたくらいで、元々外交的な性格でしたがより社交的になったと感じています。沢山良い友人を作ることができ、彼らとシドニー内外へた旅行に行ったり、スポーツ観戦をしたりと、楽しい思い出を作ることができました。多くの友人が日本に来たがっており、留学が終了しても連絡を取り合っています。また、留学で出会った友人たちの出身国すべてを訪れることが、現在の私の夢です。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること

自主学习



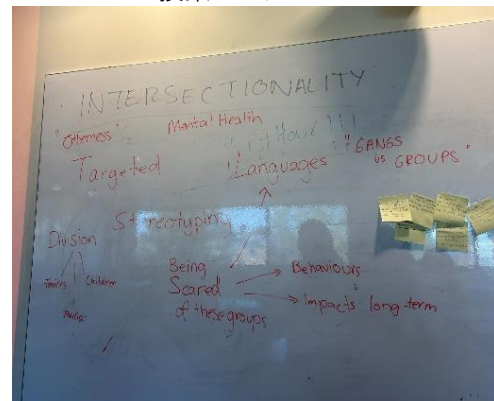
大学日本語クラス



日本語学校中高生クラス



授業ホワイトボード



NZ での 5H ハイキング



ウルルでの朝日

